

事業番号	0042	事業名	被収容者生活経費
------	------	-----	----------

外部有識者の評価結果

<事業の支出先及び使途の把握水準について>

1 十分	3
2 改善の余地あり	3
3 不十分	0

(評価シートに記載されたコメント)

【十分】

- ・ 購入手続に変更がある「米」調達に関する調査検討が不十分
- ・ 一括購入など具体的施策を早急に進めるべきである。

【改善の余地あり】

- ・ 比較可能なものは少ないが、海外の仕組なども紹介し、今の仕組が妥当であることを説明、改善する努力も可能
- ・ 共同購入の状況、各施設の配置及び連携活動等の状況が見えない。
- ・ 「調達」という分野について早急に総合的な検討をするべきである。
- ・ コスト、システム、調達先、支払方法等企業の最新事例を研究し、利用できるところを取り入れる。

<事業についての見直しの余地について>

1 一部改善	4
2 抜本的改善	1
3 廃止	0
4 現状のまま	1

【一部改善】

- ・ 衣服に対しては、一括購入でコストの効率化を。
- ・ 食事に対しては、フレキシブルな形での一括購入の可能性を探る。
- ・ 被服の品目の統合の一層の推進と一括購入
- ・ 被服については、法務省自身の分析にもあるとおり、各施設間で価格のばらつきがあるところ、生鮮食品等とは異なり価格格差が正当性を認める理由もあまりないことから、各庁購入を再検討し、改善の余地があるものとする。また、生地について海外仕入の余地もあるのではないかと考える。
- ・ 食品については、安価な予算でやりくりをしていると認められるが、報告のとおり、米穀は農林水産省からの従来の入手方法が確保されないとしても、引き続き政府米の購入に努力すべきものとする。
- ・ 「調達」をトータルコストの観点から検討する必要がある。
- ・ 一部を取り除いて話すのはあまり生産的ではないのではないかと考える。

【抜本的改善】

- ・ 受刑者の労働・作業との兼ね合いから、システム全体を見直すことに限界はあろうが、
 - ・ 食材調達の方法の抜本的見直し、共同化の推進
 - ・ 各庁購入(被服等)については、原則廃止、特殊なもののみ限定的に。